



大成っ子

さいたま市立大成小学校
学校だより 4月号

平成31年4月8日(月)

それぞれの花を大きく咲かせて

校長 長島 淑子

日本最古の歌集である万葉集の文言から引用された新元号「令和」。これは、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められているといえます。「悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。こうした日本のお国柄をしっかりと次の時代へ引き継ぎ、厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願いを込めて。」という選定理由からは、さわやかな響きとともに、新しい時代の始まりを感じます。このような記念すべき年に、本校は、新たに新生149名を迎え、全校児童927名で新しい年の教育活動をスタートいたしました。保護者の皆様、お子様の入学・進級おめでとうございます。

この春の人事異動により教職員の入れ替わりがありました。

19名の教職員の方々が異動・退職され、新たに希望に燃えた教職員が着任いたしました。大変大きなメンバー変更ですが、職員一同、力を合わせて子どもたちの望ましい成長のために全力を尽くしてまいりたいと思います。大成小学校を離れた教職員に対するこれまでの皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、新たに着任しました教職員に対するより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本校は学校目標を次のように定めております。



「心豊かで、たくましく、進んで行動する児童の育成」

げんきいっぱい(たくましい子)・あいさついっぱい(明るい子)・なかよしいっぱい(やさしい子)

昨年は、29年度から始めた体力向上の一環としての体育科の授業研究を継続するとともに、SOSの出し方に関する教育として、特別活動の中で、成長段階に合わせて、苦しい時に助けを求めることのできる態度やスキルを育成する方法について研究し、相手を思いやる場面設定や心を育てる指導に取り組んでまいりました。今年もそれをできる限り継続するとともに、体力向上の研修の3年目のまとめをしてまいります。子どもたちが自己肯定感を高め、自分の可能性を信じて、前向きに様々なことに挑戦する勇気を持ち、たくましく成長できるように、そして、笑顔あふれる大成小学校になるように、教職員一同、全力を尽くして様々な活動を充実させてまいりますので、保護者、地域の皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今月の生活目標 : 進んであいさつをしよう